講義名	オ)日本事情C【留学生科目】		
担当教員	上森 鉄也		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
主題と概要			
日本文学について総合的に学ぶ。日本文学には、古典の万葉集など昔の作品でも現在も人気があり、人々に読み続けられているものも多くある。これらの作品などについて理解を深めてもらいたい。			
到達目標			
日本文学について理解を深め、自分が興味を持った事柄に関して説明できるようになる。			
提出課題			
教室で授業ができるようになるまでは、RYUKAPortalのレポート登録で毎週課題内容を指示するので、レポートをRYUKAPortalに提出すること。			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
レポート登録で、解説及び質疑応答を行う。			
評価の基準			
提出されたレポートによって評価する。			
履修にあたっての注意・助言他			
スマートフォンでレポートを提出すると失敗する場合があります。その時は以後のレポートで知らせてください。			

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
日本文学、文化に関する参考書。				
授業計画				
1. 授業内容と評価方法の説明 2. 万葉集について 3. 万葉集の雑歌について 4. 万葉集の相聞について 5. 万葉集の巻頭の歌について 6. 古事記について 7. 古事記のイザナギについて 8. 古事記のイザナミについて 9. 古事記のスサノヲについて 10. 古事記の美奈園について 11. 古事記のケガレについて 12. 古事記のミコギについて 13. 日本書紀について 14. 伊弉諾について 15. 漢氏物語について				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション
カ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	ク：実験、フィールドワーク			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
予習...内容を指示するので、そのテーマについて調べレポートを提出する。必要時間3時間。 復習...授業に関係する具体的事柄を挙げるので、説明できるようにする。必要時間1時間。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
日本文学、文化について、調査分析し整理できるようになること。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
実務経験の有無及び活用				
備考				